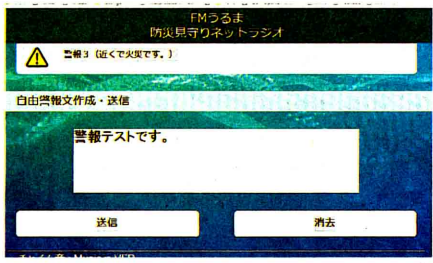


# ネットラジオへ防災情報

## インタラクティブラボ沖縄・FMうるま

### 地域特化即時に配信

インタラクティブラボトリー沖縄(うるま市、嘉数岩夫社長)とFMうるま(うるま市、伊波良和代表)は8日、地域の防災情報をネットラジオを通して発信するサービス「防災・見守りネットラジオ」を開始すると発表した。FMうるまに集まる事故や災害の情報を、インタラクティブラボトリー沖縄が昨年12月に開発したサーバーを通して配信する。嘉数社長は「地域コミュニティと連携し、防災情報を配信するサービスは県内初だろう」としている。



防災や事故の情報を入力する管理者側の画面(インタラクティブラボトリー沖縄提供)

FMうるまと情報提供を契約している行政(うるま市)と警察(石川署、うるま署)、沖縄電力などから集まった事故や災害情報をシステム管理画面に入力・送信することで、利用者はリアルタイムで

詳細な情報を受け取る。防災情報の配信時にはラジオ番組が止まる仕組みだ。配信する情報は地震や津波、停電のほか、火災や事故による交通渋滞など地域に特化。また、認知症患者の徘徊や不審者情報

などの提供も、情報発信元の信頼度などを精査して配信も検討する。防災情報の配信サービスは本年度中を予定している。

サーバーには縦5センチ、横5センチ、高さ3.5センチの手の

ひらサイズのIoT特化型サーバーを用いる。USBとLANケーブル、スピーカーなどをつなげるジャックが付いている。中国製の基盤に必要なアプリケーションやシステムを実装して販売する。WiFi機能も備えているので、ラジオ電波が届かない地域でもラジオ視聴が可能。価格は容量で異なるが、1万円未満に抑える。

高齢化社会に適応し、室温計測やカメラ撮影など、さま



防災・見守りネットラジオサービスを開始する(写真左から)FMうるまの伊波良和代表、インタラクティブラボトリー沖縄の嘉数岩夫社長、武田政樹会長

8日、うるま市のFMうるま

さまざまなセンサーを合わせた見守りシステムを予定している。利用者の異常状態の早期発見につなげる。嘉数社長と

伊波代表は「民生委員や家族へ連絡するサービスも可能だ。高齢者に安心安全を提供したい」と、早めの導入に意

欲をみせた。

問い合わせはインタラクティブラボトリー沖縄、電話050(369)53691。